



新人さんへ

認定看護師からのメッセージ

言われたことをこなすのに必死だった1年目。自分の不器用さに看護師を辞めようと思ったこともありました。同期と励まし合い1つ1つ小さな目標を達成していくことで“看護”そして“社会人”としてのやりがいを感じる事ができました。

感染管理 西村 小百合



10数年前1年生だった私は…1つ1つ先輩に指導を受け日々、患者さんやご家族からいろんなことを教わり、勿論毎日(?)自分に不足しているところは勉強していました「目の前の患者さんのために」看護師としてできることをプライベートとバランスを取りながら頑張ってください

地域看護専門 川森 淳子

新人研修研修では“地域がん診療連携拠点病院の看護師の役割”という講義の担当でした。その中で患者様の全人的苦痛に対してチームアプローチが大切というようなことも話させていただきました。新人看護師の皆さんも体や心がつらいことがあるかもしれませんが自分にとって心地よいことを意識的に取り入れて自分を癒しつつ、協力し合って患者様ご家族により良いケアをしていきましょう

緩和ケア 永井 さよこ

私は毎年この時期が大好きです。真新しい白衣を着た新人さんを見ると遠い昔の自分の新人時代を思い出し初心に戻れます。また昨年新人だったスタッフがとても頼もしく見えるのもこの時期です。誰にでも新人時代はあります。いっくに達人にはなれません。いつも忙しそうにされている科長さんやてきぱきと働く先輩Nsの新人時代をちょっと想像すると楽しいと思いませんか?「どんな新人でしたか?」と聞いてみてください。思わぬ答えが返ってくるかもしれません

糖尿病看護 村上 比奈恵

周りに慣れることで必死だった新人時代何事も遅く、要領も悪く日勤で20時や21時まで残ることが当たり前でした。本当に先輩たちをイライラさせたことでしょう。病態の勉強をしっかりとすると患者にも信頼してもらえる看護師さんになり、看護の楽しさがわかりました。

磐浅 万紀子



新人研修で「インスリン治療について」の講義を担当させていただきました。昨年研修でインスリン自己注射の患者体験を取り入れています。体験後「思ったより痛くなかった」「怖かった」など色々な意見をいただきました。今回体験したことを実際の看護に活かさせていただけると嬉しいです

糖尿病看護 重松 裕子



皮膚・排泄ケア認定看護師を目指した理由

平成15年4月 新卒で当院消化器外科へ入職
消化器外科病棟で普通に勤務

3年目 衝撃の患者との出会い

未告知、緩和ケアの
ストーマの患者さんとの
出会い

ストーマ装具
から便が漏れ
漏れ…

何か極めないと患者に満足
なケアが提供
できない

もっと勉強して成長
しないと精神的にも
患者を支えられない



4年目 専門分野の勉強

ストーマ外来を担当する

5年 皮膚排泄ケア認定看護師の養成コース入学

皮膚・排泄ケア認定看護師コース入学前の勉強



ストーマリハビリテーション実践と理論
日本ストーマリハビリテーション実行委員会

とにかくこの本が基本中の基本
ストーマケアの基本が基礎から細かく
書いています

- 四国ストーマリハビリテーション講習会を受講
- 各種メーカー主催のストーマ、創傷関係の講習会に参加
- 看護学雑誌 特に創傷ケア、褥瘡ケア関係の本を当院図書室にあるものをひたすら購読し、理論を理解した
- ストーマ装具の特徴や種類をパンフを見て覚える
- 看護過程の展開、小論文の書き方、事例をまとめ上げた
- 自分にこの分野を極めることに適性があるのか、資格を取得して働くうえでのビジョンを構想する。

京都橋大学看護研修センターで半年以上の研修

- どの分野にも言えることですが、専門的な分野を深く広く学びます
- 勉強は大変でしたが、興味がある分野なので嫌と思うことはあまりなかったように思います。
- とにかく理論と実践を結びつけるように学び、商品(創傷被覆材など)の特徴を知るため、時間外で実験をやったことがすごく楽しく、いい思い出になっています
- 創傷ケアを学ぶと、靴擦れで水泡になったりすると、写真に撮ったり、「水泡のメカニズムについてそしてその対処法について」口頭で説明し、自分の靴擦れを自分でケアするなどの面白い行動がありました。現象を口頭で説明し、理論的に対処することが認定看護師には求められます

私が出会った患者さん

ストーマ外来で暗い顔をして待合室に座っている患者がいた。
毎日装具から排泄物が漏れて装具が貼付できないという。

「手術して命は助かったけど、このままでは外出もできない。こんなに
なるんやったら手術してよかったのか、後悔している」

その時のストーマ外来で腹壁やストーマ粘膜の様子からして装具
変更が必要と判断し、ケアを行って次週ストーマ外来再診とした。

次週、ストーマ外来に来たその患者は表情が明るく、

「漏れが一切なくなった。こんなにケアが楽なんて知らなかった」

晴れやかな表情で語り、最近では趣味だった旅行や外出もできて
いるとのことでした。

皮膚・排泄ケア認定看護師分野は、理論と実践を結びつけながら実際に患者に関わる魅力があります。

結果に関わらず、患者との出会いが自分を成長させるものであるため、どうか一人一人の患者との関わりを大切に
して行ってください。

皮膚・排泄ケア認定看護師 磐浅 万紀子

【活動報告】

退院支援延べ人数(平成26年4月～6月)

在宅療養患者 122名 当院入院患者 113名 他院入院患者 24名

(川森)

【研修告知】

7月16日 当院 6階研修ホール 排泄を正しく理解しよう

磐浅万紀子

7月17日 当院 6階研修ホール 紫陽花会 結核感染対策

西村小百合

8月4日 当院 6階研修ホール 緩和ケア外来における患者・家族支援の実際 永井さよこ